



九州林政連絡協議会を開催

民・国連携し九州林政の振興へ意見交換

第95回九州林政連絡協議会が2日間に渡り、鹿児島県鹿児島市および薩摩川内市において開かれました。

当協議会は、民有林と国有林

の連携強化を図り、九州地域における森林・林業・木材産業の振興に資することを目的に開かれています。今回は林野庁から松本寛喜研究・保全課森林保

全推進室長を迎え、九州各県の関係部局や関係機関から約40人が出席しました。1日目の会議では、会長である沖修司九州森林管理局長が、「昨年『森林・林業再生プラン』が公表され、6月には中間とりまとめが行われ、国有林としても、低コスト作業シ

現状や課題について意見を交わす協議会参加者

ستمの普及やシステム販売、コンテナ苗等による育林コストの縮減、シカ体策などに取

み、今後も民有林と一体となつて、情報などを共有しながら課題に取り組みることが重要」とあ

いさつ。続いて、各県・関係機関から、「森林・林業再生プラン」の中間とりまとめを受け、施業集約化に向けた取り組み、森林経営計画(仮称)の策定に向けた準備、民間事業者の育成などについて、問題提起や現状の報告があり、各々の実情を踏まえた意見交換を行いました。特に施業集約化に向けた森林情報の整備や集約化を担う人材育成について、予算措置や時間的・組織的制約について危惧しているという意見が多く出されました。また、公共建築物等利用促進法については、木材利用の推進方針など既に策定しており、国による基本方針の公表を待って調整を行っていくなどの報告がありました。

各県からは林野庁に対して、補助制度などに係る政策提案がなされ、松本室長は「今後も補助体系の抜本的見直しを進めて

いく」とコメントしました。2日目の現地視察では、薩摩川内市の中越パルプ工業株式会社川内工場を視察。100%竹を原料とする紙の製造についての説明を受け、意見交換を行いました。また、工場内では抄紙行程や加工・仕上行程、断裁した紙製品を見学しました。

続いて、鹿児島市松陽台の県営住宅とモデルハウスでは、地材地建の取り組みについて説明を受け、県産材を用いて伝統工法で築いた集会場や、モデルハウス内部を見学しました。



地材地建のモデルハウスを見学する一行

(担当 企画調整室)

これからの地域の森林管理について思うこと

私共、対馬森林組合は、去る1月23日『森里海連環学実践塾 in 対馬』と言う名称のシンポジウムを開催致しました。現代社会は、物の豊かさ、便利さのみを優先し、大事な自然の営み、森・川・海のつながりによる恵みを、ややもすると忘れがちになり、人の手によって自然の繋がりが寸断されているケースもあります。CO2吸収源等の森林の有する公益的機能が、私共の間では常識的に言われ、適切な森林管理について日々、議論が交わされ、また、森林の荒廃

に起因する様々な災害や環境問題も新聞等でよく報じられています。しかしながら、そこに住み、生活を営んでいる人々が、地域



対馬森林組合 代表理事組合長 扇次男さん

民の皆様が、島に対する関心の大きさに驚いたところでありました。私は、「森は海の恋人」という言葉で、双方のつながりや循環を表現



の森林の状況・実態をどれだけご存じかは疑問です。この様な中、これからの森林整備は、「地域全体の課題」と言う観点から、対馬の森の実態

を広く地域の皆さんに知って頂くこと、農林・漁業関係者を始め、商工団体・婦人団体等に参加を呼びかけ問題提起をさせて頂きました。当日は、750人収容の会場に900人を越す参加者があり、島の皆様の森や海

また、森から流れ出る水にチツソ・リンなどのミネラルが豊かでないといふ魚が増えないこともよくご存じです。今、対馬では、磯焼けにより藻場がやせ、問題化している地域が、あちらこちらにあると聞いています。林業も様々な要因による採算性の悪化から、森林所有者の意欲は減退し、整備不十分な森が増えつつあります。島の大きな資源である(海)と(森)の課題を町(里)に住む人々と一緒に考え、改善に向けた行動を起こすことが肝要と考えています。

行政・団体が連携しながら、環境(海・森)保全啓発作業が定期的に継続実施され、大きな活動に発展して行くことを夢みている昨今でございます。

林士協がボランティア活動



ゴミを分別する参加者＝宮崎

【宮崎森林管理署】熊本林業士木協会宮崎支部は、宮崎市佐土原町内の国有林で草刈りやゴミ拾いの奉仕作業に取り組みました。これは林士連50周年記念活動事業の一環として行ったもので、宮崎県内22社から約60人の参加がありました。当署からも7人の職員がボランティアとして参加。草刈り班とゴミ収集班の2班に別れ、道路沿いまで伸びた草木の刈払いや、ゴミ拾いなどの清掃作業に汗を流しました。作業終了後、甲斐忠明事務局長から、「建設業界を取り巻く環境は厳しいが、地域貢献活動を通して、業界に活力が生まれれば」と話があり奉仕作業を終了しました。

新任挨拶 どうぞよろしく

森林整備部長



やなぎだ しんいちろう
柳田 真一郎

年齢 49才
出身地 福岡県
抱負 初めて九州に勤務します。森林、林業再生プランの実現に向け職員の皆さま、地域の皆さまと共に取り組んでいきたいと考えておりますのでよろしくお願ひします。

クリーン活動に汗

【宮崎北部森林管理署】日向市と協働し海岸林の「お倉ヶ浜ふれあいの森」でクリーン活動を実施。当日は、財光寺区の住民をはじめ、市や県の職員、日向市ふるさと自然を守る会会員など約40人が参加。ゴミ拾いや遊歩道沿いの草払い作業に汗を流しました。収集したゴミは分別し清掃工場まで運びました。



草払いに汗する参加者＝宮崎北部



本年4月20日に宮崎県都農町で、その後全国を震撼させることとなる国内10年

ぶりとなる口蹄疫の感染疑い1例目
が確認され、以降、

感染の勢いは止まるところを知らず、児湯郡を中心に爆発的に拡大の一途をたどり、最終的に5市6町にまで口蹄疫が蔓延し、約29万頭の牛、豚等の家畜が処分されるとい痛ましい結果

地域の底力

話などを見るに付け聞くに付け、地元にいる身として万感胸に迫る思いであった。

被害の一番大きかった川南町を始めとする4町では、町内から牛、豚が1頭もいなくなると

(西都児湯森林管理署長 松葉瀬裕之)

さを感じる心をつぎたいと思ひ、自分なりに自然のことをもっと学んでみようと思ったからです。毎月送られてくる広報誌は時代の変化に応じた記事が多く学ぶことがいっぱいです。



灘波 ツネ子さん

大分県の森林や林業、国有林とは縁遠い国東半島からモニター応募をしました。

きっかけは、唯々自然が好きで、物の命を大切にしたいという気持ちが大いなこと、そして、次世代へ自然のすばらしさを尊

となった。発生から約4カ月後の8月27日によく終息宣言が出されたが、この間、被害農家の方のインタビュー、惨状を伝える新聞記事、実際に埋却作業に携わった方の想像を絶する

という悲惨な結末を迎えたが、現在、被害に遭われた畜産農家の方々は、経営再建に向けて懸命に努力されていると聞いている。

これだけの甚大な被害に遭われても、なおもくじけず努力を惜しまない「地域の底力」をまざまざと見せつけられた思いである。自分の人生においても、負けない、めげない、くじけないの精神を常に持っていたいものだと思つた。

すばらしい自然を次世代へ

次世代へついでに育つたコン

テナ苗は、季節を問わず植え付けができ、活着率が良いことなど知ることが出来ました。

また、綾の照葉樹林の保護や人工林を照葉樹林へ復元する取り組み、森林内で遊び楽しむながら学べ、林業体験が出来る「遊々の森」の取り組みなど、

代のために、今春、ミカン山にヒノキ苗を植え付けましたが、ほとんど枯れてしまいました。頑張つて植えたのに・・・残念です。モニターとなり、多くの方々と出逢え、たくさんのお話を聞いたことは何よりの宝物となりました。

口蹄疫

防疫対策で農林水産大臣から感謝状

本年4月に宮崎県で発生した口蹄疫に対する防疫措置の実施に対し、西都児湯森林管理署および九州森林管理局に農林水産大臣感謝状が授与されました。

口蹄疫は、発生が確認されて以来、またたく間に感染が拡大し、宮崎県はもとより農林水産省をはじめとする政府を挙げた防疫対策を行ってききましたが、西都児湯森林管理署では、防疫措置である消毒作業に5月24日から51日間、延べ102人が従



口蹄疫の防疫措置に大臣感謝状＝西都児湯

事しました。また、関係署等と局が連携し、患畜等の埋却候補地の選定や野生動物への感染防止等の対策を行いました。

(担当＝総務課)



9月16日付林野庁長官発令
林野庁国有林野部付
大賞筆(森林整備部長)
九州森林管理局森林整備部長
柳田真一郎(林野庁計画課長
工企画調整室長)

10月1日付森林管理局長発令
治山課付
遠坂洋志(熊本南部署)
熊本南部署業務第一課長
谷口正美(治山課)
熊本南部署業務第二課長
下村治雄(熊本南部署)

お悔やみ申し上げます

牧壮一郎様
屋久島森林管理署宮之
浦森林事務所勤務、基幹
作業職員 牧壮一郎様は
10月1日ご逝去されました。
(59歳)

ヤンバルクイナの生息確認

【沖縄森林管理署】沖縄北部国有林に生息する希少野生動物(ヤンバルクイナ・ノグチゲラ・ヤンバルアナガコガネ)を保護・管理するため、希少野生生物保護管理対策事業により生息域を定期的かつ継続的に巡視するとともに生息状況などについて調査・研究を行っています。ヤンバルクイナは1980年代に大宜味村の一部地域でも生息が確認されていましたが、2005年以降は国頭村と東村の一部でしか生息が確認されていませんでした。今回、自動撮影カメラ調査で、近年生息が確認されていなかった東村福地ダム周辺の国有林でヤンバルクイナが撮影され、生息確認ができました。



自動カメラで確認されたヤンバルクイナ＝沖縄

今回確認された個所は、天敵のマンガースが多くヤンバルクイナの生息が絶望視された個所での発見で、明るい貴重な情報となりました。当署では、今後も継続して生息状況の把握に努めることとしています。

中学2年生が職場体験学習

【長崎森林管理署】対馬市立豆酸中学校からの要請を受け、2年生1人を受け入れ3日間の職場体験学習を行いました。豆



春の花見といえはソメイヨシノとなっています。しかし、その昔の花見はヤマザクラだったことには驚きです。(ソメイヨシノについては稿を改めて説明します。)

サントリー天然水の森に秋篠宮殿下の植樹をお願いするとき、いろいろ検討し、遣伝子の攪乱や生態系を守ることに配慮して、ヤマザクラが選ばれ、平成17年に植樹され順調に生育しています。

ヤマザクラの特徴は一对の腺点が葉柄の上部につき、若枝、冬芽、顎に毛がないことです。

酸森林事務所森林官らが講師となり、国有林の役割や森林管理署、森林事務所の仕事などをパワーポイントを使って学んだ後、コンパス測量や保育間伐、ハチトラップ設置などの体験をしました。また、国の天然記念物のツシマヤマメコについて、自動撮影カメラの設置現場で生息調査のやり方などについて学習しました。対馬の自然や森林について学んだことを忘れないで成長してほしいと願っています。

37 ヤマザクラ(バラ科)

森を学ぶ面白塾の冬芽の観察では、この点をソメイヨシノと比較してルーペで観察しながらルー

ペの世界を楽しんでいます。サクラ類はほとんどが重鋸歯ですが、ヤマザクラは鋸歯の先端が腺に終わっているのも大きな特徴です。最大の特徴は、葉と同時に花が咲くことです。

また、サクラのテングス病への耐病性について、ある研究では「69個体中、65個がソメイヨシノ、ヤマザクラは2個体だった」との報告もあり、ヤマザクラのテングス病はほとんど見られません。ソメイヨシノは60年寿命説があるほど短命ですがヤ



コンパスを使って測量を体験する生徒＝長崎



マザクラは数百年の古木になることも知られています。



「タバコをやめますか、それとも弁当我慢しますか？」そんなフレーズが浮かんでくる。10月からの増税でタバコが大幅に値上げされた。一箱440円は昼食代を超える額だ。今回のたばこ増税をきっかけに、禁煙を選択した方も少なくはなからう▼タバコはナス科の1年草の亜熱帯生植物。宗教的な儀式に使われたり、観賞用や薬品として栽培されていたという歴史を持つ▼研究が進み喫煙は、がんや呼吸器・循環器などの疾患の要因に。また、受動喫煙が原因で毎年6800人が亡くなるという推計値も発表された。さらに、たばこによる住宅や森林火災は、放火に次ぐ原因である。煙たがられる存在でしかなかったのだろうか▼今月、名古屋ではCOP10が開催されるが、多様な有用植物として研究が進むことを期待したい▼さて、11月には、育児のため休暇をとっていた同僚が復帰する。嬉しい限りだ。育児との両立は大変だろうが、さらに明るい職場へ。充実した広報誌となるよう力を合わせて参りたい。今後とも皆さまの寄稿等ご協力お願する(浩)